

数学

京都大学 [理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	6 題
------	-------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

例年と同様、誘導のための小問はない。

その他トピックス

1は独立小問のセット、4は文系5と類似の問題。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1 問1 問2	複素数平面 積分法	数C 数III	極形式の利用 定積分の計算	やや易 標準
2	整数	数A	3で割った余りを考える	やや難
3	微分法	数III	接線と関数の増減	標準
4	空間ベクトル	数C	平面上の条件と体積	標準
5	極方程式 空間ベクトル	数C	媒介変数表示される関数のグラフ	標準
6	確率 数列 (漸化式)	数A 数B	漸化式の利用	難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

誘導されずに方針を立てる力、論理的でわかりやすい答案を作る力を養う。

難しめの問題で添削指導を受けることを勧めたい。